

道徳 小学校高学年～中学校

資料名「発車、オーライ！」
出典 「かけがえのないきみだから」
学研（中2）

本時の流れ（1時間）

今日の資料について知る。
「バスに乗り間違えたことはありますか。」

資料の範読を聞きながら、資料を黙読する。

何度も断られ、困り果ててふるえだしたおじいさんの気持ちを考える。

このとき、おじいさんは、どんなことを考えていただろう。

運転手と相談しているガイド嬢の気持ちを考える。

このとき、ガイド嬢はどんなことを考えていたのだろう。

このできごとに遭遇した乗客の気持ちを考える。

このとき、どんなことを考えていただろう。

拍手をしたり、涙ぐんでうなずいたりしていた乗客の心情に共感する。

乗客はどんな気持ちから拍手をしたのだろう。

感想を書く

今日の学習で思ったことや感じたことを書こう。

主題名 思いやり

内容項目 2-（2）

（小学校）だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。

（中学校）温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。

本時のねらい

なかなかバスの降車が認められないおじいさんのことを自分のことのように心配した乗客から車内に起こる「拍手」の意味を考えることを通して、誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとする道徳的心情を養う。

会の皆に対する責任から何度もたのんでいふことに触れ、何とかして時間に間に合いたいと焦るおじいさんの気持ちを理解させる。

〔補助発問〕

「『何が』困った」のかな？

・規則を守ることとおじいさんを何とかしてあげたいと思う気持ちで揺れていることを理解させる。

・簡単に乗客を降ろすわけにはいかない理由を押さえ、規則の意義を理解させる。

・ガイド嬢とおじいさんのやりとりから、次第に乗客も人ごととは思えず、自分のことのように考えていることに気付かせる。

・間違えて特急バスに乗ったおじいさんよりも、おしゃべりをしている（相談している）乗務員たちを責める気配になっていることを押さえる。

・期せずしてわき起こった「拍手」の正体を考えることを通して、ガイド嬢、運転手、そして乗客たちがお互いのことを思いやった結果、みんなが心温まるできごとにつながったことに気付かせる。

〔補助発問〕

・「だれに対する拍手かな。」

・「何に対する拍手かな。」

表現する機会の充実

感想を書かせることで、自分と対話させ、自分の考えの変化や成長に気付かせる。

HOME

板書例へ



CLICK

「公德心」
を主題にした
パッケージは
こちら